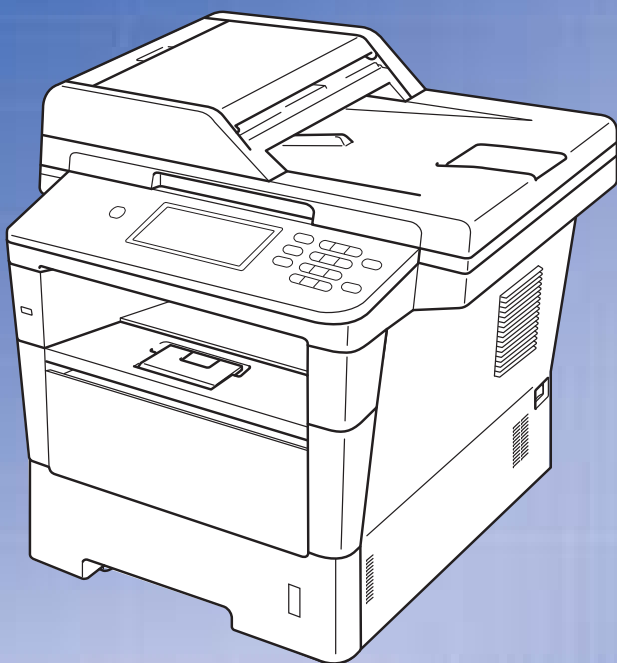
JUSTIO PRO

brother

MFC-8950DW

ユーザーズガイド応用編

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド基本編 4 章「困ったときには」で調べる

2 サポート ブラザー 検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

Version 0 JPN

目　次

本ガイドの表記

マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

マーク	説明
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人の死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
! 重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
(感電マーク)	「感電の危険があること」を示しています。
⇒ XXX ページ「XXX」	参照先を記載しています。（XXX はページ、参照先）
「XXX」	ユーザーズガイド 基本編の参照先を記載しています。（XXX はタイトル）
「XXX」	ユーザーズガイド パソコン活用編の参照先を記載しています。（XXX はタイトル）
「XXX」	ユーザーズガイド ネットワーク編の参照先を記載しています。（XXX はタイトル）
「XXX」	安全にお使いいただくためにの参照先を記載しています。（XXX はタイトル）
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。
【XXX】	本製品のディスプレイ内の表示を表しています。
[XXX]	コンピューター上の表示を表しています。

編集ならびに出版における通告

本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本ガイドに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

1 全体にかかわる設定

記録紙設定

機能に合わせて使用するトレイを選択する

機能によって使用するトレイを設定することができます。給紙するトレイに優先順位を付ける場合は、【A > B】を選択するとAトレイ、Bトレイの順に記録紙を給紙します。

機能の種類	内容	操作
コピー	コピーするときに使用する記録紙トレイを選択します。 • 原稿台ガラスからコピーする場合 優先順位を付けている場合、優先されるトレイに記録紙がなくなったときは自動的に優先順位の低いトレイから給紙されます。 • ADF（自動原稿送り装置）からコピーする場合 原稿サイズが A4 の場合、優先順位に関係なく A4 が設定されているトレイから給紙されます。	【トレイ選択：コピー】
ファクス	受信したファクスを印刷するときに使用する記録紙トレイを選択します。 • 記録紙が記録紙トレイにない場合 【記録紙を送れません】が表示されて印刷することができなくなります。⇒ユーザーズガイド 基本編「困ったときには」を参照してください。	【トレイ選択：ファクス】
プリンター	コンピューターに接続してプリンターとして使用するときの記録紙トレイを選択します。 • 設定した内容とプリンタードライバーの記録紙トレイの設定が一致していない場合 プリンタードライバーの設定が優先されます。 ただし、プリンタードライバーの設定が［自動選択］の場合に本製品で【記録紙トレイ#1のみ】、【多目的トレイのみ】、【記録紙トレイ#2のみ】が設定されているときは、これらのトレイが優先されます。	【トレイ選択：プリンター】

1 **【メニュー】→【基本設定】→【記録紙トレイ設定】を押した後、設定する内容を選ぶ**

表の「操作」を参照してください。

2 **記録紙トレイを選ぶ**

3 **<停止/終了>を押す**

電話回線設定

手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1 【メニュー】→【初期設定】→【回線種別設定】を押す

2 回線種別を選ぶ

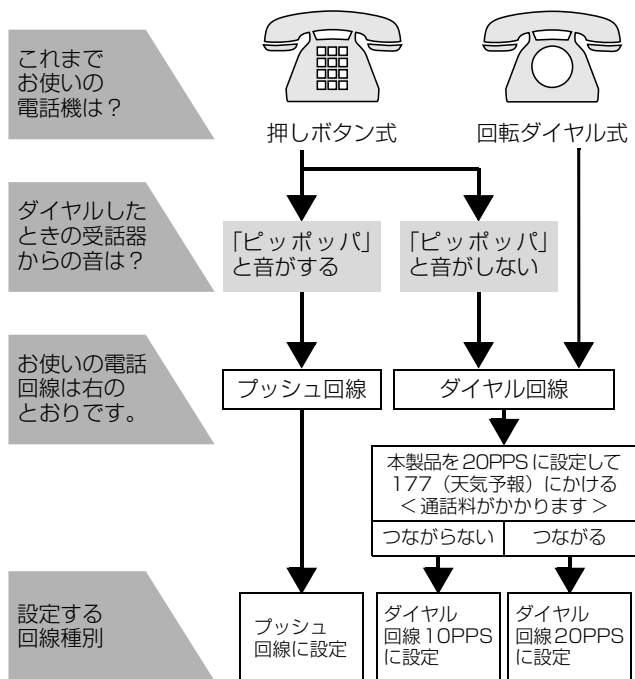
回線種別の詳細については、⇒7ページ「利用中の電話回線の種別を調べる」を参照してください。

3 <停止/終了>を押す

補足

- プッシュ回線または ISDN 回線をお使いの場合は、【プッシュ回線】を選択してください。
- ひかり電話をお使いの場合は【プッシュ回線】を選択してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP電話対応機器（ADSLモデム、ルーター、IPフォンアダプタなど）に本製品を接続する場合
本製品の回線種別設定は、電話会社と契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤルなどに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

補足

- 構内交換機（PBX）など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- 一度自動設定すると電源を入れ直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定を変更してください。

音量設定

着信音量を設定する

呼び出しベルの音量を調節します。

1 【メニュー】→【基本設定】→【音量】→【着信音量】を押す

2 音量を選ぶ

3 <停止/終了>を押す

ボタン確認音量を設定する〔ボタン確認音量＆ブザー音量〕

ボタン確認音（ダイヤルボタンなどを押したときに鳴る音）やブザー音（間違った操作をしたとき、紙づまりなど本製品に異常が起きたとき、ファクス送受信が終了したときに鳴る音）の音量を調節します。

1 【メニュー】→【基本設定】→【音量】→【ボタン確認音量】を押す

2 音量を選ぶ

3 <停止/終了>を押す

補足

【切】（ボタン確認音なし）を選んでも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送信するとき、相手から「ピー」という音が聞こえる場合の音量を調節します。

1 【メニュー】→【基本設定】→【音量】→【スピーカー音量】を押す

2 音量を選ぶ

3 <停止/終了>を押す

静音モード設定

静音モードは、本製品の印刷時の動作音を静かにすることができます。静音モードが【オン】のときは、印字速度が遅くなります。

静音モードを設定する

1 【メニュー】→【基本設定】→【静音モード】を押す

2 【オン】を押す

3 <停止/終了>を押す

省エネ設定

トナーを節約する〔トナー節約モード〕

トナーを節約したいときは、トナー節約モードを【オン】に設定します。【オン】に設定すると印字が薄くなります。

1 【メニュー】→【基本設定】→【省エネモード】→【トナー節約モード】を押す

2 【オン】を押す

3 <停止/終了>を押す

スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

本製品は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐに開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときにスリープ状態にして消費電力を減らします。ただし、ファクスの送受信には影響ありません。

1 【メニュー】→【基本設定】→【省エネモード】→【スリープ モード】を押す

2 画面に表示されているテンキー、または操作パネルのダイヤルボタンでスリープモードになるまでの時間を設定して、【OK】を押す

分単位で設定します。

3 <停止/終了>を押す

補足

- 設定できる時間は、最大5分です。
- 電源スイッチを ON にした場合は、設定した時間にかかわらずスリープモードになります。
- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために多少時間がかかります。

ディープスリープモードについて

本製品がスリープモードの場合、一定の時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われないと、自動的にディープスリープモードに切り替わり、(ホーム)の明るさが弱くなります。ディープスリープモードでは、スリープモードより少ない消費電力となり、本製品はコピーをしたり、コンピューターからのデータ受信、ファクス受信をすると、自動的に起動します。

液晶ディスプレイ設定

液晶ディスプレイの明るさを調整する

液晶ディスプレイが見えにくいときは、明るさを調整します。

1 【メニュー】→【基本設定】→【画面の設定】→【画面の明るさ】を押す

2 明るさを選ぶ

3 <停止/終了>を押す

照明ダウンタイマーを設定する

液晶ディスプレイのバックライトを暗くするまでの時間を設定します。(暗くなっても画面の表示は確認できます。)
【切】を選択すると、バックライトが常時点灯します。

1 【メニュー】→【基本設定】→【画面の設定】→【照明ダウンタイマー】を押す

2 時間を選ぶ

3 <停止/終了>を押す

液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔日本語・English〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。
お買い上げ時の設定は、日本語表示です。

英語表示に切り替える

英語による説明を以下に示します。
This setting allows you to change LCD language to English.

1 【メニュー】→【初期設定】→【表示言語】を押す
(Press 【メニュー】→【初期設定】→【表示言語】)

2 【English】を押す
(Press 【English】)

3 <停止/終了>を押す
(Press 【停止/終了】to exit.)

日本語表示に切り替える

1 【Menu】→【Initial Setup】→【Local Language】を押す

2 【日本語】を押す

3 <停止/終了>を押す

日付・時刻設定

日付・時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がされていれば相手側の記録紙にも日付と時刻が印刷されます。

1 【メニュー】→【初期設定】→【時計セット】→【時計セット】を押す

2 以下の手順で日付と時刻を設定する

1 年号（西暦の下2桁）を入力→【OK】
例：2012年の場合は【12】

2 月（2桁）を入力→【OK】
例：8月の場合は【08】を入力

3 日付（2桁）を入力→【OK】
例：21日の場合は【21】を入力

4 時刻（24時間制）を入力→【OK】
例：午後3時25分の場合は【1525】

3 <停止/終了>を押す

補足

- 時刻はあくまで目安ですので、気になるときは 1ヶ月おきに合わせてください。
- 60時間以上停電した場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

タイムゾーンを設定する

お住まいの国のタイムゾーンを設定します。ここで設定される値は、世界標準時間との時差になります。（例：日本UTC+9:00）
ここで設定したタイムゾーンは、インターネット経由で送信したドキュメントに使用されます。

1 【メニュー】→【初期設定】→【時計セット】→【タイム ゾーン】を押す

2 【－】または【＋】でタイムゾーンを選択して、【OK】を押す

30分ずつ時差が増減します。

3 <停止/終了>を押す

補足

- UTC（協定世界時）
GMT（グリニッジ標準時）とほぼ同じ時刻ですが、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な世界標準時刻のことで、1972年1月1日より使用されています。
- お使いのウェブブラウザー設定を使って設定することもできます。詳しくは⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ウェブブラウザー設定で管理する」を参照してください。

セキュリティ設定

パスワードを登録して設定変更を制限したり、ユーザーごとに利用できる機能を制限したりすることができます。

セキュリティ機能の種類

本製品のセキュリティ機能は以下の2種類があります。使用を制限したい内容に合わせて種類を選択してください。

補足

● パスワードが登録済みの場合、再登録の必要はありません。

● 登録したパスワードを忘れてしまったときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

機能	対象	制限される内容		参照
セキュリティ設定ロック	すべてのユーザー	設定変更できる機能を制限	• 日付 • 時刻 • 発信元登録 • 電話帳設定（ワンタッチ・短縮・グループダイヤル） • タッチダイヤルの編集 • 記録紙（タイプ・サイズ） • 音量（着信・ボタン確認音・スピーカー） • 省エネモード（トナー節約モード・スリープモード） • 静音モード • 液晶ディスプレイの設定（明るさ・タイマー） • セキュリティ設定ロック • セキュリティ機能ロック 2.0 • コピーの設定（設定保持・設定リセット） • トレイ選択 • ファクスの設定 • プリンターの設定 • USB ダイレクトの設定（デフォルト印刷設定） • レポート印刷の設定 • ネットワークの設定 • 製品情報 • 受信モード • 回線種別設定 • ダイヤルトーン設定	⇒15ページ「設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕」

機能	対象	制限される内容		参照
セキュリティ設定ロック	すべてのユーザー	設定変更できる機能を制限	• 特別回線対応 • ナンバープレフィックス • リセット • 表示言語 • スキャン to USB （設定保持・設定リセット） • スキャン to E メール （設定保持・設定リセット）	⇒15ページ「設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕」
セキュリティ機能ロック 2.0	登録したユーザー（25人まで）または一般ユーザー	使用できる機能を制限	• ファクス送信 • ファクス受信 • コピー • スキャン※1 • USB ダイレクトプリント • プリント※2 • クラウド接続 • 印刷枚数の制限※3	⇒16ページ「使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック2.0〕」

※1：モバイルプリント機能を経由して送られるスキャンジョブも含みます。
※2：AirPrint、Google クラウドプリント、Brother iPrint&Scan を経由する印刷ジョブも含みます。
（一般モードで印刷が制限されている場合は、上記機能を経由する印刷ジョブは制限されます。）
※3：印刷枚数の制限は、ウェブブラウザー設定を使って設定します。

設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕

セキュリティ設定ロック機能の設定の流れを説明します。

補足

セキュリティ設定ロックが設定されている場合でも【ファクス】から下記設定を行うことができます。
また、ウェブブラウザー設定やリモートセットアップを経由して設定することもできます。

- 原稿濃度設定
- ファクス画質設定
- タイマー送信設定
- リアルタイム送信設定
- ポーリング送信設定
- 海外送信モード設定

STEP 1　パスワードを登録する

セキュリティ設定ロックを管理するためのパスワードを登録します。

⇒ 16 ページ「パスワードを登録する」

STEP 2　設定をオンにする

セキュリティ設定ロックを有効にします。

⇒ 16 ページ「セキュリティ設定ロックをオンにする」

パスワードを登録する

1 【メニュー】→【基本設定】→【セキュリティ】→【セキュリティ 設定ロック】を押す

2 以下の手順でパスワードを入力する

1 画面に表示されているテンキーでパスワード（4桁）を入力→【OK】
2 再度パスワードを入力→【OK】

3 <停止/終了>を押す

セキュリティ設定ロックをオンにする

1 【メニュー】→【基本設定】→【セキュリティ】→【セキュリティ 設定ロック】→【ロック オフ⇒オン】を押す

2 画面に表示されているテンキーでパスワード（4桁）を入力して、【OK】を押す

パスワードを変更する

1 【メニュー】→【基本設定】→【セキュリティ】→【セキュリティ 設定ロック】→【パスワード設定】を押す

2 以下の手順でパスワードを変更する

1 登録済みパスワード（4桁）を入力→【OK】
2 新しいパスワード（4桁）を入力→【OK】
3 再度新しいパスワード(4桁)を入力→【OK】

3 <停止/終了>を押す

セキュリティ設定ロックをオフにする

1 【セキュリティ 設定ロック】を押す

2 画面に表示されているテンキーでパスワード（4桁）を入力して、【OK】を押す

使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック2.0〕

ユーザーごとまたは一般ユーザー用（個別に登録されていないユーザー）に使用する機能を制限します。

補足

- セキュリティ機能ロック2.0の設定やユーザー登録は、BRAdmin Professional（Windows®のみ）やウェブブラウザー設定を経由して設定を行う方法もあります。ユーザーごとに出力制限、印刷枚数制限、出力枚数のカウンター情報の管理などが行えるので便利です。詳しい操作方法は、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ウェブブラウザーで管理する」を参照してください。
- 管理者だけが各ユーザーの機能ロックのオン/オフと制限設定または変更を行えます。設定または変更をするには管理者パスワードが必要です。
- 機能ロックがオンの場合でも、原稿濃度、ポーリング送信、送付書の設定をすることができます。ただし、ファクス送信が禁止に設定されている場合はすべてのファクス設定がロックされます。
- ポーリング受信を有効にするには、ファクス送信とファクス受信の両方を有効にする必要があります。
- ファクス受信無効のユーザーが設定されているとき、ファクスを受信した場合はメモリに蓄積されます。その後、ファクス受信が有効なユーザーに切り替わったときに、【すべてのファクスをプリントしますか？】が表示され、【はい】を選択すると印刷されます。また、セキュリティ機能ロックをオフにすると自動的に印刷されます。

STEP 1　管理者パスワードを登録する

一般モード設定や個別ユーザーの名前とパスワードを登録するための管理者用パスワードを設定します。

⇒ 18 ページ「管理者パスワードを登録する」

●一般ユーザー用

STEP 2　一般モードを設定する

個別に登録されていない一般ユーザーが使用できる機能を制限します。

⇒ 18 ページ「一般モードを設定する」

●個別ユーザー用

STEP 2　ユーザーを登録する

ユーザーの名前とパスワードを登録して、個別のユーザーごとに使用できる機能を制限します。

⇒ 19 ページ「ユーザーを登録する」

STEP 3　セキュリティ機能ロックをオンにする

セキュリティ機能ロックをオンにすると一般モードが有効になります。個別ユーザー設定を有効にするにはセキュリティ機能ロックをオンにした後、STEP 4　ユーザーを切り替える に進んでください。

⇒ 19 ページ「セキュリティ機能ロックをオンにする」

STEP 4　ユーザーを切り替える

セキュリティ機能ロックをオンにしているとき、登録した個別ユーザーに切り替えることができます。

⇒ 19 ページ「ユーザーを切り替える」

管理者パスワードを登録する

1 【メニュー】→【基本設定】→【セキュリティ】→【セキュリティ 機能ロック】を押す

2 以下の手順でパスワードを入力する

1 画面に表示されているテンキーでパスワード（4桁）を入力→【OK】
2 再度パスワードを入力→【OK】

3 <停止/終了>を押す

管理者パスワードを変更する

1 【メニュー】→【基本設定】→【セキュリティ】→【セキュリティ 機能ロック】を押す

2 以下の手順で管理者パスワードを変更する

1 【パスワード設定】を選択
2 登録済みパスワード（4桁）を入力→【OK】
3 新しいパスワード（4桁）を入力→【OK】
4 再度新しいパスワード(4桁)を入力→【OK】

3 <停止/終了>を押す

一般モードを設定する

1 【メニュー】→【基本設定】→【セキュリティ】→【セキュリティ 機能ロック】→【ユーザー設定】を押す

2 以下の手順で一般モードを設定する

1 管理者パスワードを入力→【OK】
2 【一般モード】を選択
3 制限したい機能を選択→【禁止】

3 <停止/終了>を押す

ユーザーを登録する

1 【メニュー】→【基本設定】→【セキュリティ】→【セキュリティ 機能ロック】→【ユーザー設定】を押す

2 以下の手順でユーザーを登録する

1 管理者パスワードを入力→【OK】
2 【ユーザー 01】～【ユーザー 25】を選択
3 ユーザー名（14文字まで）を入力→【OK】
同じユーザー名は登録できません。
4 ユーザーパスワード（4桁）を入力→【OK】
5 制限したい機能を選択→【禁止】

補足

- 複数のユーザーを登録する場合は、 で 1 つ前の画面に戻り手順2内の2～5を繰り返してください。
- 文字入力のしかたについては⇒ 55 ページ「文字を入力する」を参照してください。

3 <停止/終了>を押す

セキュリティ機能ロックをオンにする

1 【メニュー】→【基本設定】→【セキュリティ】→【セキュリティ 機能ロック】→【ロック オフ⇒オン】を押す

2 管理者パスワードを入力して、【OK】を押す

ユーザーを切り替える

1 【一般モード】または【ユーザー名】→【ユーザー切替】を押す

2 以下の手順でユーザーを切り替える

1 ユーザー名を選択
2 ユーザーパスワードを入力→【OK】
ユーザー登録で許可された機能が使用可能になります。

補足

プリント機能のユーザー名・パスワード入力については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。

セキュリティ機能ロックをオフにする

1 【一般モード】または【ユーザー名】→【ロック オン⇒オフ】を押す

2 管理者パスワードを入力して、【OK】を押す

ナンバー・ディスプレイ設定

本製品では、ご利用の電話会社との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に液晶ディスプレイに表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。
本製品ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 名前表示機能
  電話帳に名前が登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前と電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 着信履歴機能
  電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に削除されます。）
  操作方法については、⇒ユーザーズガイド 基本編「ナンバー・ディスプレイの着信履歴を確認/登録する」を参照してください。

補足

- ●本製品はネーム・ディスプレイ、およびキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ●ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタの設定が必要です。
- ●IP 電話を利用されているときは、VoIP アダプタ（IP 電話対応機器）の設定が必要です。
- ●構内交換機（PBX）に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイサービスを利用できません。
- ●ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
- ●電話回線にガス検針器やホームセキュリティ装置などが接続されている場合は、ナンバー・ディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

電話番号の表示方法は以下の中から選択できます。

- 【オン】
  本体の液晶ディスプレイに相手の電話番号または名前が表示されます。
- 【オフ】
  相手の電話番号または名前が表示されません。
- 【外付け電話優先】
  本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。

1 【メニュー】→【ファクス】→【その他】→【ナンバーディスプレイ】を押す

2 電話番号の表示方法を選ぶ

3 <停止/終了>を押す

注意

【外付け電話優先】で使用する場合、本製品の受信モードを【F/T=自動切換え】に設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

補足

- ●ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、電話会社への契約が必要です。契約していない場合は【オフ】にしてください。
- ●ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を【オン】、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「オフ」にしてください。
- ●ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を【外付け電話優先】、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「オン」にしてください。
- ●【外付け電話優先】の場合、着信履歴は本製品に残りません。

便利な送信方法

通話後にファクスを送信する

相手と通話した後にファクスを送信します。

1 **相手先のファクシミリのスタートを押してもらう**

2 **原稿をセットして、<スタート>を押す**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で【送信】を押してください。

3 **本製品に接続されている電話機の受話器を戻す**

他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕

ファクスの送受信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、液晶ディスプレイには新しいジョブ番号が表示されます。

補足

ファクスを手動で送信しているときや、リアルタイム送信時は、次に送りたいファクス原稿の読み込みができません。

同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、あらかじめ登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルから指定します（ダイヤルボタンで最大50か所、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルと合わせて最大382か所まで指定できます）。

1 **【ファクス】を押して、原稿をセットする**

2 **【◀】または【▶】を押し【同報送信】を選択する**

3 **宛先の入力方法を選択する**

- 直接入力：画面に表示されるテンキーで相手先のファクス番号を入力します。
- 電話帳：リストから相手先を選択します。

4 **宛先を指定して、【OK】を押す**

同様の手順ですべての宛先を指定します。すべての宛先を指定し【OK】を押してください。

5 **<スタート>を押す**

- 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、液晶ディスプレイに次の原稿の有無を確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの指示に従ってください。
- すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。
- 同報送信レポートを確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

補足

- 送信途中でキャンセルするには<停止/終了>を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。
- 送信先を間違えたときは、<停止/終了>を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリの残量によって制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、重複した相手先が自動的に削除されます。
- 原稿読み込み中に【メモリがいっぱいです】が表示されたら<停止/終了>を押して中止してください。原稿が複数枚の場合は、<スタート>を押して読み込まれた分だけ送信することもできます。

原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕

原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。
ここで変更した設定は、ファクス送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。⇒29ページ「変更したファクス送信設定を保持する」を参照してください。

1 【ファクス】を押して、原稿をセットする

2 【◀】または【▶】を押し【リアルタイム送信】を選択する

3 【オン】を押す

4 宛先を指定して、<スタート>を押す

補足

- リアルタイム送信を【オン】に設定すると、原稿はメモリに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。
- リアルタイム送信が【オン】に設定されている場合、ポーリング送信とタイマー送信は設定することができません。
- 原稿台ガラスからの送信の場合、原稿は１枚しか送信できません。
- 原稿台ガラスから送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。
- メモリがいっぱいになると、【オフ】に設定されていてもリアルタイム送信されます。
- IPファクスを使ってリアルタイム送信はできません。データコネクト設定のIPファクスが【専用】、または【優先】の場合、メモリ送信となります。詳しくは、⇒34ページ「IPファクスの設定をする」を参照してください。

相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕

相手側のファクシミリからの操作で、本製品にセットした原稿を自動的に送信します。これをポーリング送信といいます。

補足

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、ポーリング送信が利用できないことがあります。また、機密ポーリング送信を行う場合は、相手先がブラザー製のファクシミリである必要があります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的に送信結果を示すポーリング送信レポートが印刷されます。
- ポーリング送信の場合、通話料は相手側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときは⇒28ページ「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。
- リアルタイム送信が【オン】に設定されている場合、ポーリング送信は設定することができません。リアルタイム送信を【オフ】に設定してください。⇒22ページ「原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕」を参照してください。
- IPファクスの設定にかかわらず、通常のファクス送信になります。

ポーリング送信の種類

ポーリング送信の種類	液晶ディスプレイ表示	内容
標準ポーリング送信	標準	相手側のファクシミリからの操作で、本製品にセットした原稿を自動的に送信します。
機密ポーリング送信	機密	受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用して、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取ることができます。機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と4桁のパスワードを決めておく必要があります。受信側とパスワードが一致したときだけ送信することができます。

ポーリング送信する

1 【ファクス】を押して、原稿をセットする

2 【◀】または【▶】を押し【ポーリング送信】を選択する

3 ポーリング送信の種類を選ぶ

機密ポーリング送信は、ダイヤルボタンでパスワード（4桁）を入力した後、【OK】を押します。

4 <スタート>を押す

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、液晶ディスプレイに次の原稿の有無を確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの指示に従ってください。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを【オン】に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1 【ファクス】を押して、原稿をセットする

2 【◀】または【▶】を押し【海外送信モード】を選択する

3 【オン】を押す

4 宛先を指定して、<スタート>を押す

補足

- 相手のファクシミリとつながるまで時間がかかるために送信できないとき、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がある場合は手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから<スタート>を押して送信してください。原稿台ガラスに原稿がある場合は、<スタート>を押してから【送信】を押してください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に【オフ】に戻ります。
- 海外送信モードを【オン】にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

1 【ファクス】を押して、原稿をセットする

2 【◀】または【▶】を押し【タイマー送信】を選択する

3 【オン】を押す

4 送信する時刻を入力して、【OK】を押す

例：午後3時5分の場合は【1505】

5 宛先を指定して、<スタート>を押す

補足

- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- メモリに読み込める原稿枚数は原稿の内容によって異なります。
- 相手が話し中などで送信できなかったときは、5 分おきに3回まで再ダイヤルします。
- リアルタイム送信が【オン】に設定されている場合、タイマー送信は設定することができません。リアルタイム送信を【オフ】に設定してください。
⇒22ページ「原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕」を参照してください。
- 電源スイッチをOFFにした状態が60時間を超えた場合、タイマー送信設定（送信時刻）とともにファクスデータ（タイマー送信データ）もメモリから消去されます。

メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕

メモリに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信する時間が同じものがある場合、1 回の通信で設定された時間に送信することができます。

1 【メニュー】→【ファクス】→【送信設定】→【とりまとめ送信】を押す

2 【オン】を押す

3 <停止/終了>を押す

便利な送信設定

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の記録紙の先頭に印刷されます。

2012/08/21 15:25 03XXXXXXXX　ブラザー　太郎　ページ 01/01

○○○のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました○○のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

1　【メニュー】→【初期設定】→【発信元登録】を押す

2　以下の手順で発信元を登録する

1 ファクス番号を入力→【OK】
2 電話番号を入力→【OK】
3 名前を入力→【OK】

補足

- ファクス番号と電話番号は、20 桁まで登録できます。カッコ【()】、ハイフン【-】は登録できません。
- 名前は漢字とひらがな10文字（カタカナ20文字）まで登録できます。
- 電話とファクスを同一回線（1 番号）で使用している場合は、ファクス番号と電話番号が同じ番号になりますのでファクス番号を入力してください。

3　<停止/終了>を押す

補足

- リモートセットアップ機能を利用すると、コンピューターから発信元を登録することもできます。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」を参照してください。
- 文字入力のしかたについては⇒ 55 ページ「文字を入力する」を参照してください。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書については⇒27ページ「送付書を付けて送信する」を参照してください。

発信元登録を消去する

1 【メニュー】→【初期設定】→【発信元登録】を押す

2 （1文字ずつ削除）→【OK】を押す

補足

を押し続けると、一括削除もできます。

3 <停止/終了>を押す

送付書を付けて送信する

ここで変更した設定は、ファクス送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。⇒29ページ「変更したファクス送信設定を保持する」を参照してください。

注意

発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと送付書送信の設定ができません。⇒26ページ「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する〔発信元登録〕」を参照してください。

1 【ファクス】を押して、原稿をセットする

2 【◀】または【▶】を押し【送付書】を選択する

3 【オン】を押す

4 送付書のコメントを選択する

5 送信枚数を入力して【OK】を押す

6 宛先を指定して、<スタート>を押す

補足

- オリジナルコメントの登録のしかたは⇒27ページ「送付書のオリジナルコメントを登録する」を参照してください
- 送付書の、「TO:」の名前はあらかじめ電話帳に登録されていないと表示されません。⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」を参照してください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

オリジナルコメントを作成し、送付書のコメントとして登録することができます。

1 【メニュー】→【ファクス】→【送信設定】→【送付書設定】→【送付書コメント】を押す

2 以下の手順でコメントを登録する

1 コメントを登録する箇所(5または6)を選択
2 コメントを入力→【OK】

補足

コメントは漢字13文字（かな26文字）まで入力できます。文字の入力のしかたについては⇒55ページ「文字を入力する」を参照してください。

3 <停止/終了>を押す

送付書を印刷する

送付書のプリントサンプルを出力することができます。

1 【メニュー】→【ファクス】→【送信設定】→【送付書設定】→【印刷サンプル】を押す

2 <スタート>を押す

3 <停止/終了>を押す

ファクス送信待ちを確認または解除する

メモリ送信の待ち状況を確認できます。
メモリ送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

1 **【メニュー】→【ファクス】→【通信待ち一覧】を押す**

2 **解除する内容を選択して、【OK】を押す**

確認のみのときは<停止/終了>を押します。

3 **解除するときは【はい】を押す**

解除を中止するときは【いいえ】を押します。

4 **<停止/終了>を押す**

補足

送信待ちのファクスがないときには【通信待ちはありません】が表示されます。

宛先情報表示を設定する

ファクス送信中、液晶ディスプレイに相手先の電話番号の表示を設定することができます。

- 【表示】：
  液晶ディスプレイに相手先の情報を表示する
- 【非表示】：
  液晶ディスプレイに相手先の情報を表示しない

1 **【メニュー】→【ファクス】→【送信設定】→【送信先表示】を押す**

2 **【表示】を押す**

表示させたくない場合は、【非表示】を選択します。

3 **<停止/終了>を押す**

画質を設定する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。
画質は以下の中から選択できます。

- 【標準】（標準モード）：
  大きくはっきり見える文字のとき
- 【ファイン】（ファインモード）：
  小さい文字のとき
- 【スーパーファイン】（スーパーファインモード）：
  新聞のように細かい文字のとき
- 【写真】（写真モード）：
  写真を含む原稿のとき

補足

- ファイン、スーパーファインまたは写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。
- 【スーパーファイン】は、インターネットファクスには対応しておりません。

ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると【標準】に戻ります。設定を保持することもできます。⇒29ページ「変更したファクス送信設定を保持する」を参照してください。

1 **【ファクス】を押して、原稿をセットする**

2 **【ファクス画質】を押す**

3 **画質を選ぶ**

4 **宛先を指定して、<スタート>を押す**

原稿濃度を設定する

原稿に合わせ濃度を変更して、ファクスを送信します。原稿濃度は以下の中から選択できます。
- 【自動】：
  普通の文字の原稿が多いときに設定します。
- 【濃く】：
  えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。
- 【薄く】：
  濃い色の原稿が多い場合に設定します。

ここで変更した設定は、ファクス送信が終わると【自動】に戻ります。設定を保持することもできます。⇒29ページ「変更したファクス送信設定を保持する」を参照してください。

1 【ファクス】を押して、原稿をセットする

2 【◀】または【▶】を押し【原稿濃度】を選択する

3 原稿濃度を選ぶ

4 宛先を指定して、<スタート>を押す

ガラス面の読み取りサイズを設定する

原稿台ガラスからファクスを送るとき、読み取りサイズをあらかじめ設定しておくことができます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。⇒29ページ「変更したファクス送信設定を保持する」を参照してください。

1 【ファクス】を押して、原稿を原稿台ガラスにセットする

2 【◀】または【▶】を押し【原稿台スキャンサイズ】を選択する

3 読み取りサイズを選ぶ

4 宛先を指定して、<スタート>を押す

両面原稿の読み取りを設定する

両面原稿をファクス送信する場合の読み取り方向を設定することができます。
- 【長辺とじ】：
  長辺綴じ原稿
- 【短辺とじ】：
  短辺綴じ原稿

1 【ファクス】を押して、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

2 【両面ファクス】を押す

3 とじる方向を選ぶ

4 宛先を指定して、<スタート>を押す

変更したファクス送信設定を保持する

以下のファクス送信設定を変更して保持することができます。

- ファクス画質　⇒28ページ「画質を設定する」
- 原稿濃度　⇒29ページ「原稿濃度を設定する」
- 原稿台スキャンサイズ　⇒29ページ「ガラス面の読み取りサイズを設定する」
- リアルタイム送信　⇒22ページ「原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕」
- 送付書　⇒27ページ「送付書を付けて送信する」

ここで変更された設定内容は、次回ファクス送信するときにも有効です。

1 【ファクス】を押す

2 【◀】または【▶】を押し【設定を保持する】を選択する
保持される項目が表示されます。

3 【はい】を押す

4 <停止/終了>を押す

便利な宛先指定方法

宛先を指定するには次の方法があります。

指定方法	詳細	準備しておくこと	参照
ダイヤルボタン	入力した番号に送信します。	−	⇒ユーザーズガイド 基本編「まずは使ってみましょう」
ワンタッチダイヤル	ワンタッチボタンに登録されている番号に送信します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」	⇒ユーザーズガイド　基本編「ワンタッチダイヤルを使用する」
短縮ダイヤル	短縮ダイヤルに登録されている番号に送信します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」	⇒ユーザーズガイド 基本編「短縮ダイヤルを使用する」
電話帳から検索	本製品の電話帳（ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤル/グループダイヤル）に登録されている名前の読みがなから番号を指定して送信します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」	⇒31ページ「電話帳から検索する」
	本製品がLDAPサーバーと接続されている場合は、LDAPサーバー電話帳に登録されている情報を指定して送信します。	⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「LDAP サーバーを設定する」	
再ダイヤル	最後にかけた番号にもう一度送信します。	−	⇒31ページ「同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕」
チェーンダイヤル	電話帳に登録した番号を相手先の電話番号やファクス番号につなげてダイヤルすることができます。 例えば・・・ • 電話番号の前に識別番号を付けて電話代を節約する →短縮ダイヤルに識別番号を登録しておいて、電話番号と組み合わせてダイヤルする。 • 国際電話をかける手間を省く →国名と国番号を登録しておくと、簡単に国際電話をかけることができます。	⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」	⇒32ページ「チェーンダイヤルを使用する」

ボタンを押し間違えたときは、必ず<停止/終了>を押し、消去してから再度送信先を入力してください。

電話帳から検索する

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、LDAPサーバーに登録した番号は、すべて電話帳から読みがなで検索することができます。
検索のしかたは以下のとおりです。

1 を押す

2 を押す

3 検索したい名前の読みがなの最初の文字を入力→【OK】を押す

入力した文字から始まる名前が50音順またはアルファベット順に表示されます。

4 【▲】または【▼】で該当の名前を指定する

補足

- 電話帳登録のしかたは⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「LDAPサーバーを設定する」を参照してください。
- グループダイヤルの登録のしかたは⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」を参照してください。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたについては⇒51ページ「レポート・リストの種類」を参照してください。
- 文字入力のしかたについては⇒ 55 ページ「文字を入力する」を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

1 原稿をセットする

2 <再ダイヤル/ポーズ>を押して最後にかけた番号が表示された後、<スタート>を押す

補足

自動再ダイヤルについて

- 自動送信でファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します。自動再ダイヤルは5分間隔で3回繰り返します。
- 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
- 自動再ダイヤルを3回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信結果レポートが印刷されます。「結果」の欄が「応答なし」または「話し中」であることを確認し、再度送信してください。
- 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
- 原稿台ガラスからリアルタイム送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。
- 送信した内容が相手先に届いても、本製品が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

自動再ダイヤルを設定する

相手が通話中などでファクス送信できなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。
設定は以下の中から選択できます。

- 【オン】：
  相手が通話中などでつながらなかったときは、自動で再ダイヤルを行います。
- 【オフ】：
  自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信レポートが印刷されます。
  お買い上げ時は【オン】に設定されています。

1 【メニュー】→【ファクス】→【送信設定】→【自動再ダイヤル】を押す

2 【オン】を押す

3 <停止/終了>を押す

チェーンダイヤルを使用する

短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、ダイヤルボタンの直接入力を組み合わせて宛先を指定することができます。

1 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルで番号を指定する

- ワンタッチダイヤル
  <タッチダイヤル>を押します。
  17～32を指定するときは *17-*32 を押して17～32を表示させてからワンタッチボタンを押します。
- 短縮ダイヤル
  →短縮ダイヤル番号を入力→【ファクス送信】を押します。

2 続けて組み合わせる番号をワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、ダイヤルボタンで指定して、<スタート>を押す

補足

電話番号の途中にポーズを入力するには、<再ダイヤル/ポーズ>を押します。

ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する

ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように、ダイヤル発信を制限することができます。
制限するダイヤルと制限内容は以下のとおりです。

制限の種類	操作
直接入力	【メニュー】→【ファクス】→【ダイヤル制限機能】→【直接入力】
ワンタッチダイヤル	【メニュー】→【ファクス】→【ダイヤル制限機能】→【ワンタッチダイヤル】
短縮ダイヤル	【メニュー】→【ファクス】→【ダイヤル制限機能】→【短縮ダイヤル】
LDAPサーバー	【メニュー】→【ファクス】→【ダイヤル制限機能】→【LDAPサーバー】

制限の設定は以下の中から選択できます。

- 【オフ】：
  通常のファクス送信を行います
- 【2度入力】：
  ファクス番号の再入力が求められ、正しい番号を入力した場合にのみ、ファクス送信を行います。間違った番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。
- 【オン】：
  ファクス送信を禁止します。

注 意

■本製品に接続されている電話機では、ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）設定は働きません。

■直接入力が【オン】に設定されている場合は、ダイヤルボタンを使用した直接入力、およびオンフック機能を使用したダイヤルボタン入力はできません。

■<再ダイヤル/ポーズ>を押してダイヤルする操作は禁止できません。

■【オン】または【2度入力】に設定すると、同報送信やチェーンダイヤルは使用できません。

全体にかかわる設定
ファクス送信
ファクス受信
転送・リモコン
レポート・リスト
USBダイレクトプリント
必要なときに確認してほしいこと

IPファクスの設定をする

次世代ネットワーク（NGN）でIPファクスを使用する場合、データコネクトの設定を変更する必要があります。

補足

ウェブブラウザー設定で設定することもできます。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「IPファクスを設定する」を参照してください。

IPファクスを設定する

IPファクスの設定は、以下の中から選択できます。

- 【専用】：
  ファクス送信がIPファクスのみとなります。ただし、手動送信およびポーリング送信の場合は、通常のファクス送信になります。
- 【優先】：
  相手先がIPファクスに対応しているかを自動的に確認し、対応していない場合には通常のファクス送信を行います。
- 【オフ】：
  通常のファクス送信のみとなります。
  お買い上げ時は、【オフ】に設定されています。

1 **【メニュー】→【ファクス】→【データコネクト設定】→【IPファクス】を押す**

2 **設定を選択する**

3 **<停止/終了>を押す**

補足

IPファクスを使用する場合、TCP/IP設定のIP取得方法を【Auto】または【DHCP】に設定してください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「IP 取得方法」を参照してください。

通信速度を設定する

通信速度は、以下の中から選択できます。

- 【自動】：
  お買い上げ時は、【自動】に設定されています。
- 【標準】：64kbps
- 【高速】：512kbps
- 【最高速】：1000kbps

1 **【メニュー】→【ファクス】→【データコネクト設定】→【通信速度】を押す**

2 **通信速度を選択する**

3 **<停止/終了>を押す**

補足

各通信速度の利用料金については、NTT のホームページでご確認ください。

データコネクトとは

お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュアで安定した帯域確保型データ通信を実現するサービスです。送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続していれば、データコネクトでIPファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。

注意

データコネクトは、NTT のフレッツ 光ネクストに契約している場合のみ利用できます。

補足

- データコネクトの設定は、設定内容リストで確認することができます。⇒51ページ「レポート・リストの種類」を参照してください。
- 「データコネクト」「フレッツ　光ネクスト」は、NTT東日本／NTT西日本のサービスです。

特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに使用している回線を特定し、設定します。

1 【メニュー】→【初期設定】→【特別回線対応】を押す

2 回線を選ぶ

3 <停止/終了>を押す

補足

【PBX】に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が【オフ】になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度【オン】にするときは、特別回線対応の設定を【一般】にしてください。

ダイヤルトーン検出の設定をする

本製品を構内交換機（PBX）やIP電話アダプタに接続していると、発信できなくなる場合があります。その場合は【検知しない】にしてください。

1 【メニュー】→【初期設定】→【ダイヤルトーン設定】を押す

2 設定を選ぶ

3 <停止/終了>を押す

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送受信したいときに設定します。【高速】→【標準】→【安心（VoIP）】の順で送受信時間は遅くなりますが、【標準】または【安心（VoIP）】に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。

1 【メニュー】→【ファクス】→【その他】→【安心通信モード】を押す

2 回線を選ぶ

3 <停止/終了>を押す

補足

- IPフォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを4つ）を付けておかけください。この場合、通信料金はNTTなどのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。
- ファクスの送信エラーには、次のような多くの要素があります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

  本製品側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

ナンバープレフィックスを設定する

構内交換機（PBX）などの使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号をあらかじめ登録しておきます。PBXのある環境で、電話帳の設定を変更せずに外線にダイヤルできます。

1 **【メニュー】→【初期設定】→【ナンバー プレフィックス】を押す**

2 **【オン】→【ナンバー プレフィックス】を押す**

3 **あらかじめ登録するダイヤルの内容を設定して、【OK】を押す**

- 登録できる番号は最大5桁です。
- 【0】～【9】、【＊】、【#】、【!】が登録できます。

4 **<停止/終了>を押す**

補足

- 登録した場合は、ダイヤルボタンからの入力やワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル使用時に設定した内容が付加されます。付加しない場合は登録しないでください。
- 【!】を押して「!」を入力すると、番号の登録はできません。
- PCファクスはControlCenterのPC-FAXプレフィックスの設定が優先されます。
- ダイヤル10PPS、ダイヤル20PPS回線をご利用の場合は【＊】、【#】を登録できません。

3 ファクス受信

さまざまな受信方法

ファクス受信には大きく分けて2つの方法があります。

- 自動的に受信： 一度設定すると、受信時の操作は必要ありません。
- 手動で受信： 受信時に本製品、または本製品に接続されている電話機を操作する必要があります。

以下の表を参考に受信方法を選択してください。

受信方法			内容	参照
自動的に受信	自動受信	本体から記録紙に印刷	設定した回数の着信音が鳴り終わると、本製品が自動的にファクスを受信し、印刷します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「受信モードの種類」
	メモリ代行受信	本体のメモリで受信	自動受信を設定しているときでも、記録紙がないなど印刷できない場合には、自動的にメモリに受信します。	⇒38ページ「メモリ代行受信について」
	メモリ受信		受信したファクスをメモリに蓄積します。あとから印刷したり、外出先から取り出したりすることができます。	⇒38ページ「メモリ受信を設定する」 ⇒38ページ「メモリに受信したファクスを印刷する」
	電話呼び出し受信		受信したファクスをメモリに蓄積して、登録しておいた電話番号に自動的にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。	⇒39ページ「電話呼び出し機能を設定する」
手動で受信	呼び出し中受信	本製品の操作で受信	呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機の受話器を取り、本製品を操作してファクスを受信します。	⇒39ページ「呼び出し中にファクスを受信する」
		電話機のリモート操作で受信（リモート受信）	呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機の受話器を取り、電話機からのリモート操作でファクスを受信します。	⇒39ページ「呼び出し中にファクスを受信する」 ⇒41ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる（リモート受信）」
	通話後受信	本製品の操作で受信	相手と通話した後に本製品を操作してファクスを受信します。	⇒40ページ「通話後にファクスを受信する」
		電話機のリモート操作で受信（リモート受信）	相手と通話した後に本製品に接続されている電話機からのリモート操作でファクスを受信します。	⇒40ページ「通話後にファクスを受信する」 ⇒41ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる（リモート受信）」
	親切受信	電話機の受話器を取って受信	本製品に接続されている電話機の受話器を取ったとき相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま7秒待つと自動的にファクスを受信することができます。	⇒40ページ「親切受信で受信する」
	ポーリング受信	本製品の操作で受信	本製品からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。	⇒42ページ「本製品の操作で相手の原稿を受信する（ポーリング受信）」

メモリ代行受信について

以下の状況になった場合、本製品は、送られてきたファクスを自動的にメモリに蓄積します（メモリ代行受信）。

- カバーが開いているとき：
  【カバーが開いています】※
- 記録紙がなくなったとき：
  【記録紙を送れません】※
- トナーがなくなったとき：
  【トナー交換】※
- 記録紙がつまったとき：
  【紙詰まり XXX】※
- 記録紙のサイズを間違ってセットしたとき：
  【用紙サイズが合いません】※

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリから消去されます。

※：状況に応じて液晶ディスプレイに表示されるエラーメッセージです。

注意

メモリがいっぱいになると、それ以降はメモリ代行受信はできません。

メモリ受信を設定する

メモリ受信を設定すると、受信したファクスをメモリに蓄積して、あとから印刷したり、外出先から取り出すことができます。

補足

メモリ受信と、電話呼び出し機能、ファクス転送、PCファクス受信は同時に使用することはできません。

1 【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【転送/メモリ受信】を押す

2 【メモリ受信】を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

- メモリ受信は最大500ページまでできます。（ただしメモリの残量や原稿の内容によって変化します。）
- 記録紙がないときは、メモリ受信の設定が【オフ】に設定されていても、メモリ代行受信を行います。
- メモリに蓄積されたファクスを外出先から取り出さないまま、メモリ受信を【オフ】にすると【ファクスを消去しますか？】が表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリから消去されます。

メモリに受信したファクスを印刷する

メモリ受信が設定されているときに、メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリから消去します。

1 【メニュー】→【ファクス】→【ファクス出力】を押す

2 <スタート>を押す

3 印刷終了後、<停止/終了>を押す

補足

メモリに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに【データがありません】が表示されますので<停止/終了>を押してください。

電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に登録した呼び出し先の電話番号にダイヤルする機能です。電話に出ると、「ポッポッ」という音でファクスを受信したことを知らせます。

補足

電話呼び出し機能と、メモリ受信、ファクス転送、PCファクス受信は同時に使用することはできません。

1 **【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【転送/メモリ受信】を押す**

2 **以下の手順で電話呼び出しを設定する**

1 【電話呼び出し】を押す
2 呼び出し番号を入力（最大20桁）→【OK】

3 **<停止/終了>を押す**

補足

電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。外出先のファクシミリから受信したファクスを取り出すこともできます。⇒50ページ「外出先からファクスを取り出す」を参照してください。

注意

電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

呼び出し中にファクスを受信する

呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機の受話器を取り、ファクスを受信します。

1 **呼び出しベルが鳴ったら、本製品に接続されている電話機の受話器を取る**

2 **「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、受信操作を行う**

- 本製品から受信する
  <スタート>→【受信】を押します。
- 電話機のリモート操作で受信する
  本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで、リモート起動番号（#51）を押します。
  リモート受信の詳細は⇒41ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
- 相手と通話した後にファクスを受信する
  <スタート>を押し、【受信】を押してファクスを受信します。

3 **受話器を戻す**

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについては⇒ユーザーズガイド 基本編「まずは使ってみましょう」を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 親切受信を【オン】に設定している場合は、そのまま約7秒間待つと自動でファクスを受信できます。⇒40ページ「親切受信で受信する」を参照してください。
- 呼び出し回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼び出し回数を6回以下に設定されることをおすすめします。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 基本編「呼び出し回数を設定する」を参照してください。
- 相手が手動送信のファクスの場合は、受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認してから<スタート>を押し、【受信】を押してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。ただし、リモート受信の場合は、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていても送信されずにファクス受信します。

通話後にファクスを受信する

相手と通話した後にファクスを受信します。

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、受信操作を行う

- 本製品から受信する
  <スタート>→【受信】を押します。
- 電話機のリモート操作で受信する
  本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで、リモート起動番号（#51）を押します。
  リモート受信の詳細は⇒41ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。

注意

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

3 受話器を戻す

親切受信で受信する

本製品に接続されている電話機の受話器を取ったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま７秒待つと、自動的にファクスを受信することができます。

1 【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【親切受信】を押す

2 【オン】を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

受信時の操作

- 親切受信を【オン】に設定している場合
  - 本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえた場合は約７秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに【受信中】が表示されたら受話器を戻します。
  - 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスに切り替わらないときがあります。そのときは、受話器を持ったまま、<スタート>を押し、【受信】を押して受信します。
  - 本製品に接続されている電話機からリモート受信をすることもできます。詳しくは、⇒41ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
- 親切受信を【オフ】に設定している場合
  - 本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえた場合は相手がファクスですので、<スタート>を押し、【受信】を押して受信します。このとき、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。
  - 本製品に接続されている電話機からリモート受信をすることもできます。詳しくは、⇒41ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を【オフ】に設定してください。
- 親切受信機能は、本製品に接続されている電話機を上げてから40秒有効です。40秒経過してからファクス信号が送られてきても親切受信しません。

本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕

親切受信がうまくはたらかないとき、または親切受信の設定が【オフ】になっている場合は、本製品に接続されている電話機を操作してファクスを受信させることができます。

注意

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある場合でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

リモート受信を設定する/リモート起動番号を変更する

リモート受信を使用するときは設定を【オン】にします。また、リモート起動番号を自分の好きな番号に変更することができます。
お買い上げ時は「#51」に設定されています。

1 **【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【リモート受信】を押す**

2 **【オン】を押す**

- リモート起動番号が表示されます。
- リモート起動番号（3桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

3 **【OK】→<停止/終了>を押す**

補足

リモート起動番号とは、本製品に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用するものです。

リモート受信の操作のしかた

1 **本製品に接続されている電話機の受話器を持ったまま、電話機のダイヤルボタンでリモート起動番号（#51）を入力する**

受話器は約5秒後に戻します。
本製品がファクス受信を始めます。

補足

リモート起動番号は「#51」に設定されています。自分の好きな番号に変更することもできます。⇒41 ページ「リモート受信を設定する/リモート起動番号を変更する」を参照してください。

本製品の操作で相手の原稿を受信する〔ポーリング受信〕

本製品からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。これをポーリング受信といいます。

補足

- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。また、機密ポーリングを行う場合は、相手先がブラザー製のファクシミリである必要があります。
- FAX情報サービスからデータの取り出しをする場合は、事前に情報提供先に操作方法などの確認をしてください。
- ポーリング受信の場合、通話料は受信者側の負担となります。

ポーリング受信の種類

選択項目	ポーリング受信の種類	内容
標準	標準ポーリング受信	本製品からの操作で、相手側ファクシミリにセットされた原稿を受信します。
標準	順次ポーリング受信	1 回の操作で、複数の相手先からファクシミリにセットされた原稿を順次に受信します。これを順次ポーリング受信といいます。
機密	機密ポーリング受信	受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用してパスワードを知っている人だけが原稿を受け取ることができます。 機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と 4 桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信することができます。
タイマー	タイマーポーリング受信	ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。 タイマーポーリング受信を解除したいときは⇒28ページ「ファクス送信待ちを確認または解除する」を参照してください。

ポーリング受信する

1 【ファクス】を押す

2 【◀】または【▶】を押し【ポーリング受信】を選択する

3 以下の手順でポーリング受信する

1 **ポーリング受信の種類を選択する**

- ポーリング受信の種類は⇒42ページ「ポーリング受信の種類」の表を参照してください。
- 以下のポーリング受信は次の操作を行ってください。
  - 機密ポーリング受信
    ダイヤルボタンで4桁のパスワードを入力した後、【OK】を押します。
  - タイマーポーリング受信
    指定時刻を入力した後、【OK】を押します。
    例：午後3時15分の場合は【1515】

2 **相手先のファクス番号を入力する**

- 短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルなど、電話帳に登録されている番号を選択することもできます。
- 以下のポーリング受信は次の操作を行ってください。
  - 順次ポーリング受信
    ① 相手先のファクス番号を入力する前に【同報送信】を押します。
    ② 宛先の入力方法を選びます。
    ③ 宛先を指定して、【OK】を押します。
    ④ すべての番号を指定してから【OK】を押します。

4 <スタート>を押す

受信時の設定

受信スタンプを設定する

ファクスを印刷するときに、受信した日時と本製品の発信元情報を印刷することができます。

1 【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【受信スタンプ】を押す

2 【オン】を押す

3 <停止/終了>を押す

注意

あらかじめ本製品の日付と時刻を正しく設定しておいてください。

ファクス無鳴動受信を設定する

電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。

1 【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【ファクス無鳴動受信】を押す

2 【オン】を押す

3 <停止/終了>を押す

受信したファクスを両面印刷する

受信したファクスを出力する際、両面印刷するように設定できます。両面印刷できる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

1 【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【両面印刷】を押す

2 【オン】を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

両面印刷を【オン】にすると【自動縮小】の設定に関係なく、内部的に【自動縮小】が【オン】と同じ状態で印刷されます。

自動的に縮小して印刷する

A4サイズの長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

1 【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【自動縮小】を押す

2 【オン】を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約375mmまでの原稿をA4サイズに収まるように縮小して印刷します。約375mmを超えた原稿は縮小せずに2枚以上に分けて印刷します。
- 【自動縮小】を【オフ】に設定したときに、受信のたびに白紙がもう1枚排出されることがあります。そのときは、【自動縮小】を【オン】に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- 送信側の原稿サイズがA3やB4などの場合は、送信側で縮小しますので、この機能を【オフ】にしても縮小して受信されます。

印刷の濃さを設定する

受信するファクスの印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は5段階で設定できます。

1 【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【印刷濃度】を押す

2 【◀】または【▶】で印刷濃度を設定して、【OK】を押す

【◀】を押すと薄くなり、【▶】を押すと濃くなります。

3 <停止/終了>を押す

4 転送・リモコン

ファクス転送機能

ファクスがメモリに蓄積されると、外出先のファクシミリへ転送（ファクス転送）したり、本製品と接続しているコンピューターに転送（PCファクス受信）したりすることができます。

他の場所のファクシミリに転送する

ファクスを受信すると転送先のファクシミリへ自動的に転送する機能です。
転送したファクスの印刷設定は以下の中から選択できます。
- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

補足

ファクス転送とメモリ受信、電話呼び出し機能、PCファクス受信は同時に使用することはできません。

1 **【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【転送/メモリ受信】を押す**

2 **以下の手順でファクス転送を設定する**

1 【ファクス転送】を押す
2 転送先番号の指定方法を選ぶ
3 転送先の番号を指定→【OK】
4 印刷の設定を選ぶ

3 **<停止/終了>を押す**

補足

- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。⇒50ページ「外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する」を参照してください。
- 転送先番号は最大20桁まで入力できます。
  （カッコ【( )】やハイフン【-】は入力できません。）
- ファクスが転送されると、メモリに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ファクス転送を設定する前に受信したファクスは転送されません。
- ファクス転送前に停電が発生したり、転送先のファクシミリに問題が発生した場合、ファクスデータがメモリに保存され、電源スイッチをOFFにしても消去されません。

ファクスをコンピューターで受信する〔PCファクス受信〕

受信したファクスを本製品と接続しているコンピューターに転送することができます。
コンピューターがOFFの場合は、受信したファクスを本製品に蓄積してコンピューターがONになったときに、まとめて転送します。
印刷設定は以下の中から選択できます。
- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

補足

PCファクス受信とメモリ受信、電話呼び出し機能、ファクス転送は同時に使用することはできません。

1 **【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【転送/メモリ受信】を押す**

2 **以下の手順でPCファクス受信を設定する**

1 【PCファクス受信】を選ぶ→【OK】
2 【<USB>】またはコンピューター名を選ぶ→【OK】
3 印刷設定を選ぶ

3 **<停止/終了>を押す**

注意

コンピューターでファクスを受信したい場合は、本製品の設定を必ず【ＰＣファクス受信】にしてください。

補足

- コンピューター側でのPC-FAX受信の起動については、⇒ユーザーガイド パソコン活用編「PCファクス」を参照してください。
- 受信したファクスのデータが本製品のメモリに残っている場合は、手順2で【オフ】を選択しても設定はできません。【すべてのファクスをプリントしますか？】または【ファクスを消去しますか？】が表示されたら【はい】を押して印刷または消去してから設定してください
- ネットワーク接続されているコンピューターで PC ファクス受信を行う場合は、コンピューター側で「PC-FAX受信」を起動してから行ってください。
- コンピューターで受信したファクスを確認・印刷する方法やコンピューターからファクスを送信する方法については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PCファクス」を参照してください。

外出先から本製品を操作する：リモコン機能

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本製品を操作するための暗証番号（3 桁の数字と＊）を設定します。

注意

暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 **【メニュー】→【ファクス】→【暗証番号】を押す**

2 **ダイヤルボタンで暗証番号（3桁の数字）を入力した後、【OK】を押す**

（暗証番号は最後に【＊】を加えた4桁の番号になります。4桁目の【＊】は変えることができません。）

3 **<停止/終了>を押す**

外出先から本製品を操作する

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、外出先から本製品を操作して、ファクス転送などの操作を行うことができます。

1 **外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする**

2 **本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字＋＊）を入力する**

「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 **短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえている間に、リモコンコードを入力する**

補足

リモコンコードは、外出先から本製品に対する設定を変更するための番号です。⇒49ページ「リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕」を参照してください。

4 リモコンアクセスを終了するときは、⑨⓪を入力する

補足

- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してから暗証番号を入力します。
- 暗証番号を入力するタイミングを以下に示します。
  - **ファクス専用モードのとき**
    メモリ受信の場合、本製品が応答すると、約4秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリ受信が設定されていないときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。
  - **自動切換えモードのとき**
    本製品が応答すると約4秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
  - **外付け留守電モードのとき**
    本製品に接続されている留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（本製品に接続されている留守番電話に応答メッセージを録音する際はあらかじめ4～5秒くらい無音状態を入れておいてください）。
  - **電話モードのとき**
    呼び出しベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- 1つのリモコンコードの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のリモコンコードを入力することができます。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコードを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。
- メモリ受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、設定をファクス転送にしないでください。

リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕

リモコンコードを入力することにより、本製品を下記のように操作することができます。

機能	コード
メモリ受信を解除します。(電話呼び出し、ファクス転送の設定も解除されます)	951
ファクス転送に設定します。(番号未登録時は設定できません)	952
電話呼び出しに設定します。(番号未登録時は設定できません)	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、(#)を2回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送が設定されます。	954
メモリ受信を設定します。	956
メモリに蓄積したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリに蓄積したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを蓄積しているかを確認します。蓄積しているときは「ピー」という音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを【留守＝外付け留守電】に変更します。	981
受信モードを【F/T=自動切換え】に変更します。	982
受信モードを【FAX=ファクス専用】に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954）」について手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

1 **外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする**

2 **本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字＋(＊))を入力する**

「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 **「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(6)(2)を押す**

4 **外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力して最後に(#)を2回押す**

ファクス番号は最大20桁まで入力できます。

5 **受話器を戻す**

外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

1 **外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする**

2 **本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字＋(＊))を入力する**

3 **「ピピッ」という音が聞こえたら、(9)(5)(4)を押す**

4 **新しい転送番号をダイヤルボタンで入力して最後に(#)を2回押す**

転送番号は最大20桁まで入力できます。

5 **「ピー」の後に「ピピッ」という応答音が聞こえたら、(9)(0)を押して受話器を戻す**

正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度、操作をやり直してください。

補足

● 外出先からは「＊」や「#」を転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、(#)を1回押します。
(#)を2回押すと転送番号の入力終了を表します。

● 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによっては回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順2の操作を行ってください。

5 レポート・リスト

レポート・リストの種類

本製品では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

操作の入り口：【メニュー】→【レポート印刷】→

レポート・リスト	内容
【送信結果レポート】	最新の送信・受信履歴200件の中から、送信履歴のみを表示します。または最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
【電話帳リスト】	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を【メモリ番号順】または【名前順】で印刷します。【メモリ番号順】を選択した場合は、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの、それぞれに登録されている番号順に印刷されます。
【通信管理レポート】	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。
【設定内容リスト】	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
【着信履歴リスト】	着信した履歴を印刷します。
【ネットワーク設定リスト】	ネットワークの設定内容を印刷します。
【ドラム汚れ印刷】（ドラムチェックシート）	ドラムユニットを清掃するときに、感光ドラムの汚れの場所を特定するためのチェックシートを印刷します。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 基本編「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
【無線LANレポート】	無線LANの接続状態や無線LAN情報を印刷します。

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。

- タイマー送信レポート
  タイマー送信が終了すると印刷されます。
- ポーリング送信レポート
  ポーリング送信が終了すると印刷されます。
- 同報送信レポート
  同報送信が終了すると印刷されます。

注意

記録紙サイズの設定が A4 以外の場合は、レポート・リストを印刷できません。

送信結果レポートを表示する

送信結果レポートを表示します。表示内容は、送信した最新の最大200件分の結果と詳細についてです。

1 **【メニュー】→【レポート印刷】→【送信結果レポート】→【表示】を押す**

2 **通信結果を確認する**

3 **<停止/終了>を押す**

レポートの出力を設定する

送信結果レポートと通信管理レポートの出力に関することを設定します。

送信結果レポートの出力を設定する

ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。
送信結果レポートの出力設定は以下の中から選択できます。

- 【オン】:
  送信後に毎回自動的に印刷します。
- 【オン+イメージ】:
  【オン】の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
- 【オフ】:
  通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
- 【オフ+イメージ】:
  【オフ】の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。

補足
リアルタイム送信時には画像は印刷されません。

1 【メニュー】→【ファクス】→【レポート設定】→【送信結果レポート】を押す

2 印刷する送信結果レポートの出力設定を選ぶ

3 <停止/終了>を押す

通信管理レポートの出力間隔を設定する

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

1 【メニュー】→【ファクス】→【レポート設定】→【通信管理間隔】を押す

2 以下の手順で間隔を設定する

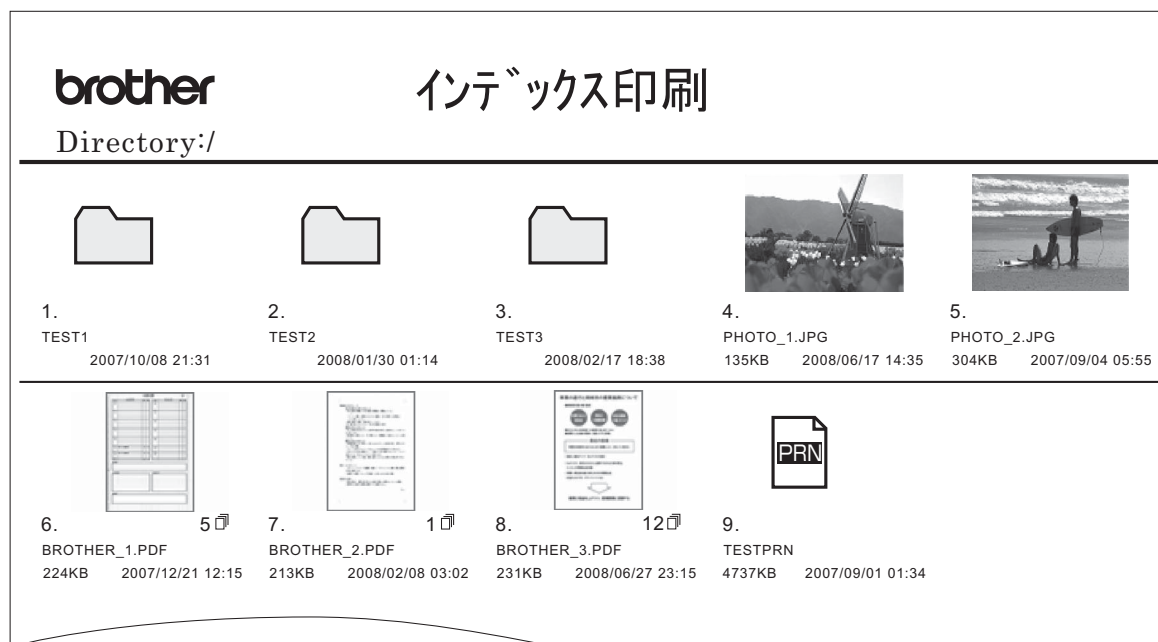
1. **出力間隔を選ぶ**
2. **開始時間を入力→【OK】**
   開始時間は、【50件ごと】【レポート出力しない】以外を選択した場合のみです。
   【7日ごと】を設定したときは、曜日を選択してください。

補足
通信管理レポートの出力開始時間になる前に200件になったときは、通信管理レポートが自動で印刷されメモリから消去されます。

3 <停止/終了>を押す

6 USBダイレクトプリント

フォルダー構成やデータの一覧を印刷する

USBメモリ内にあるフォルダー構成やデータの一覧（インデックス印刷）を印刷できます。
フォルダーのアイコン、フォルダー名、更新年月日、および時刻が印刷されます。
ファイル形式を表すアイコンまたはサムネイル、ファイル名、ファイルサイズ、更新年月日、および時刻が印刷されます。PDFファイル、TIFFファイル、XPSファイルの場合は、ページ数も印刷されます。印刷できないデータのアイコンは「?」で印刷されます。

1 USBメモリをUSBメモリ差込口に接続する

2 【USBダイレクトプリント】→【インデックスプリント】を押す

3 <スタート>を押す

【デバイスを抜かないで下さい】が表示されている間はUSBメモリを抜かないでください。

4 <停止/終了>を押す

操作パネルから印刷の設定をする

印刷に関するさまざまな設定は操作パネルから行います。設定した内容は次に変更するまで保存されます。

操作の入口：【USBダイレクトプリント】→【デフォルト印刷設定】→

機能の種類	内容
【記録紙サイズ】	印刷する記録紙のサイズを設定します。
【記録紙タイプ】	印刷する記録紙のタイプを設定します。
【レイアウト】	レイアウトを設定します。
【印刷の向き】	印刷する方向を設定します。
【部単位】	部単位で印刷するかどうかを設定します。
【プリント画質】	印刷の画質を設定します。 【きれい】を選択すると、印刷に時間がかかることがあります。
【PDF オプション】	PDFデータを印刷するとき、印刷する内容を設定します。
【インデックス プリント】	インデックスシートの印刷方式を【簡易】または【詳細】に設定します。

7 必要なときに確認してほしいこと

文字を入力する

発信元登録、電話帳の登録では、画面に表示されるキーボードを使って文字を入力します。入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。
コンピューターからリモートセットアップ機能を使用して登録することもできます。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」を参照してください。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。入力できる文字の種類は設定項目によって異なります。

ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	ま	まみむめも
か	かきくけこ	や	やゆよゃゅょ
さ	さしすせそ	ら	らりるれろ
た	たちつてとっ	わ	わをん
な	なにぬねの	゛゜	(濁点、半濁点)
は	はひふへほ	ー	ー

カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
ア	アイウエオ ァィゥェォ	マ	マミムメモ
カ	カキクケコ	ヤ	ヤユヨャュョ
サ	サシスセソ	ラ	ラリルレロ
タ	タチツテトッ	ワ	ワヲン
ナ	ナニヌネノ	゛゜	(濁点、半濁点)
ハ	ハヒフヘホ	ー	ー

英字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
ABC	ABCabc	TUV	TUVtuv
DEF	DEFdef	WXYZ	WXYZwxyz
GHI	GHIghi		
JKL	JKLjkl		
MNO	MNOmno		
PQRS	PQRSpqrs		

数字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
1	1	7	7
2	2	8	8
3	3	9	9
4	4	0	0
5	5	*	*
6	6	#	#

記号

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
!?&	!?&	,.	, .
#$€	#$€	:;	: ;
+-	+ -	<>	< >
=/	=/	[]	[ ]
@%*	@%＊	()	( )
"'	" '	^_	（スペース） ^_

文字の入力方法（変更方法）

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
あア A1@ A 1 @	入力できる文字の種類を切り替えます。 押すたびに カタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または→数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。
変換	ひらがなを漢字に変換します。
確定	入力した文字を確定します。
⌫	選択中の文字を消去します。 ◀を押して削除したい文字までカーソルを移動して押します。
◀ ▶	カーソルを左右に移動します。 同じボタンを続けて入力する場合には、 ▶を押します。

補足

変換範囲を変更することはできません。

入力例

【鈴木エリ】と入力するときは、下記のように操作します。

操作	画面表示
さ を3回押す	す
▶ を1回押す	す
さ を3回押す	すす
゛゜ を1回押す	すず
か を2回押す	すずき
変換 を1回押す	スズキ すずき 鈴木 鱸 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
あア A1@ を1回押す	※入力できる文字の種類が【カタカナ】に替わります。
ア を4回押す	鈴木エ
ラ を2回押す	鈴木エリ

全体にかかわる設定
ファクス送信
ファクス受信
転送・リモコン
レポート・リスト
USBダイレクトプリント
必要なときに確認してほしいこと

記録紙のこと

本製品で使用できる記録紙について説明します。

推奨紙

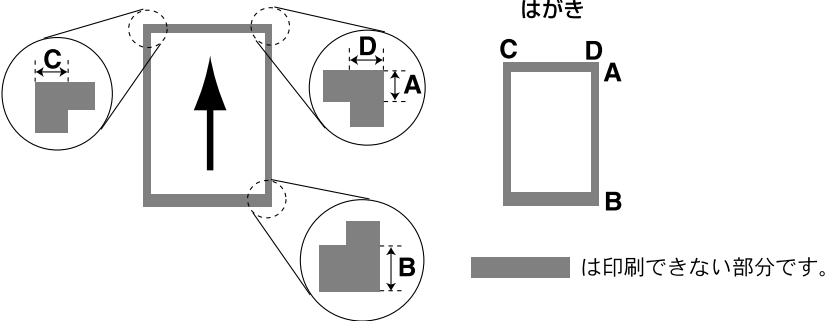
記録紙の種類※1	記録紙名
普通紙 普通紙（厚め）	富士ゼロックス　オフィスサプライ（株）　C2（上質プリンター用紙） （株）リコー　マイペーパー A4T目
再生紙	富士ゼロックス　オフィスサプライ（株）G70
ラベル紙	エーワンレーザーラベル28362
ハガキ	ハガキ（郵便事業株式会社製　通常郵便葉書）※2

※1：推奨紙をご使用ください。記録紙の種類によっては、うまく印刷できない場合があります。
　　インクジェット専用紙はご使用にならないでください。本製品の故障の原因となります。
※２：私製ハガキ、往復ハガキ、印刷済みハガキは使用できません。

補足

- 市販されているレーザープリンター用の記録紙をお使いいただくこともできますが、印刷品質は記録紙に左右されますので、推奨されている記録紙をおすすめします。
- 一度に多くの記録紙を購入する前に、試し印刷されることをおすすめします。

記録紙の印刷可能範囲

記録紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、Dはそれぞれ対応しています。

（単位：mm）

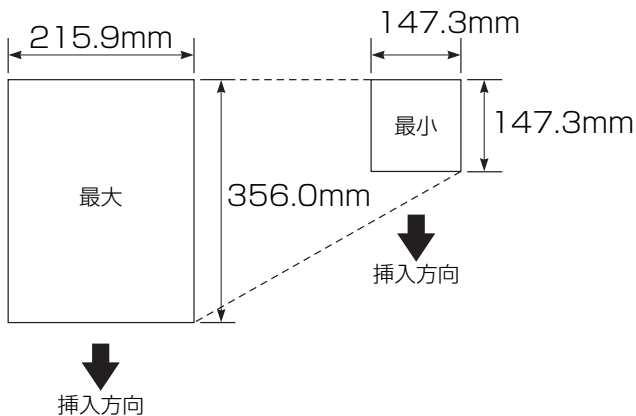
サイズ	モード	A	B	C	D
A4	ファクス	4.0	4.0	1.0	1.0
	コピー	4.0	4.0	3.0	3.0
	プリンター	4.2	4.2	4.2	4.2
ハガキ（100mm×148mm）	コピー	4.0	4.0	3.0	3.0
	プリンター	4.2	4.2	4.2	4.2

補足

印刷できない部分の数値（表中のA、B、C、D）は、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙やプリンタードライバーによっても値が変わってきます。

原稿のこと

原稿サイズ

ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

坪量　：$64g/m^2$ ～ $90g/m^2$
（ADF（自動原稿送り装置）使用時）

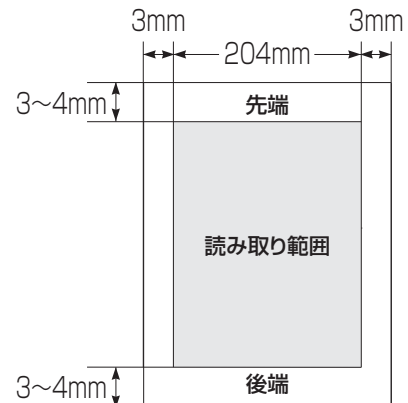
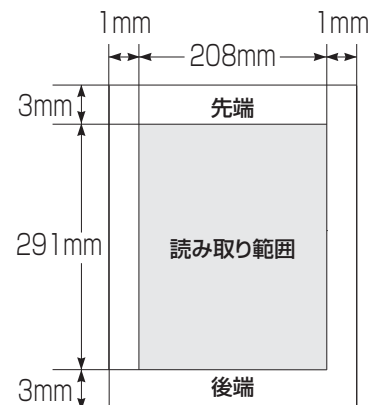
最大質量　：2kg（原稿台ガラス使用時）

補足

- 原稿の種類や形状に応じて、ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスのどちらかを選択してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿があるときは ADF（自動原稿送り装置）から読み込まれます。ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないときは原稿台ガラスから読み込まれます。

原稿の読み取り範囲

A4サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は次のとおりです。

〈原稿台ガラス使用時〉

〈ADF使用時〉

補足

- 原稿の読み取り範囲は、目安として参考にしてください。
- 原稿を読み取る範囲と記録紙に印刷できる範囲が異なります。⇒58ページ「記録紙の印刷可能範囲」を参照してください。

製品情報

製品情報の確認/印刷

操作の入口：【メニュー】→【製品情報】→

機能の種類		内容
確認	【シリアル No.】	シリアル番号を表示します。
確認	【印刷枚数表示】	以下の項目について印刷した枚数を表示します。 • 合計　• ファクス/リスト　• コピー　• プリンター

操作の入口：【メニュー】→【製品情報】→【消耗品寿命】→

機能の種類		内容
確認	【ドラム寿命】	ドラムユニットの寿命を表示します。
確認	【ヒーター寿命】	定着器ユニット（ヒーター）の寿命を表示します。
確認	【レーザー寿命】	レーザーユニットの寿命を表示します。
確認	【PF キット MP 寿命】	多目的トレイ用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネの寿命を表示します。
確認	【PF キット 1 寿命】	記録紙トレイ1用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネの寿命を表示します。
確認	【PF キット 2 寿命】※	記録紙トレイ2用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネの寿命を表示します。

※：オプションの増設記録紙トレイ（LT-5400）を増設したときに表示されます。

操作の入口：【メニュー】→【プリンター】→【プリンター オプション】→

機能の種類		内容
印刷	【フォント リスト】→（印刷する項目を選択）→<スタート>	本製品の内蔵フォントを印刷します。
印刷	【プリンター設定】→<スタート>	プリンターの設定値内容を印刷します。
印刷	【テスト プリント】→<スタート>	印刷の品質をテスト印刷します。

補足

- 表示される寿命はあくまで目安です。
- PFキットMPの概算寿命は50,000枚、その他の定期交換部品の概算寿命は100,000枚です。

最新のドライバーや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するには

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行っております。
最新のドライバーやファームウェアをサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

ドライバーを新しくすることで、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体にトラブルがあるときは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、http://solutions.brother.co.jp/ へ

設定機能の初期化

初期化とは

各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻したり、電話帳に登録した情報をすべて消去したりすることができます。
初期化できる設定は以下のとおりです。

注意

■初期状態に戻すと、設定・電話帳などの内容は元に戻せません。初期状態に戻す前に、電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存しておいてください。⇒51ページ「レポート・リストの種類」を参照してください。

■セキュリティ設定ロックがオンになっていると、初期状態に戻す機能は使用できません。セキュリティ設定ロックをオフにしてください。⇒16ページ「セキュリティ設定ロックをオフにする」を参照してください。

機能の種類	内容	操作
プリンター設定	以下の項目をお買い上げ時の状態に戻します。 • エミュレーション • プリンターオプション • 両面印刷	【メニュー】→【プリンター】→【プリンター リセット】
機能設定	コピー、ファクスなど各種機能でご使用に合わせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	【メニュー】→【初期設定】→【リセット】→【機能設定】
ネットワーク設定	ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	【メニュー】→【初期設定】→【リセット】→【ネットワーク】

機能の種類	内容	操作
電話帳・ファクスの登録情報	以下の項目の設定をお買い上げ時の状態に戻します。メモリに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかをあらかじめご確認ください。 • お客様の名前・電話番号 • セキュリティ設定ロックで設定したパスワードと設定内容 • 発信履歴（再ダイヤル機能） • 送付書のコメント • 同報送信する相手先 • タイマー送信する相手先 • リモート起動番号 • 電話帳の内容 • グループダイヤルの内容 • 着信履歴の内容 • ファクス転送先の内容と転送設定 • メモリの内容（受信データ） • PC ファクス受信データの未転送分（コンピューターに転送したファクスのデータは消去されません） • リモコン暗証番号 • 通信管理レポート • 送信結果レポート	【メニュー】→【初期設定】→【リセット】→【電話帳＆ファクス】
全設定	上記すべてに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	【メニュー】→【初期設定】→【リセット】→【全設定】

初期化のしかた

1 【メニュー】→【初期設定】または【プリンター】→【リセット】または【プリンター リセット】を押した後、初期化する内容を選択する

表の「操作」を参照してください。

2 【はい】を押す

【いいえ】を押すと、設定メニューに戻ります。

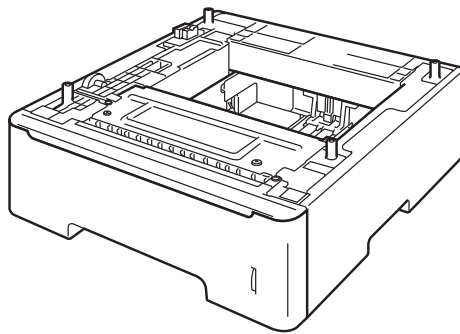
3 初期化を完了する

• プリンター設定を初期化した場合
<停止/終了>を押します。
• プリンター設定以外を初期化する場合
【はい】を2秒間押します。

再起動しないと設定は初期化されません。

オプション

増設記録紙トレイ（LT-5400）

増設記録紙トレイは最大500枚（80g/m²）の記録紙をセットすることができます。

本製品への取り付け方法は、増設記録紙トレイ（LT-5400）に付属の説明書をご覧ください。

メモリを増設する

メモリ容量を増やすことができます。本製品には128MBの標準メモリとは別にメモリボードを追加することができるスロットが1つあり、最大で合計384MBまで容量を増やすことができます。増設することによって、本製品の性能が向上します。

使用できるメモリボード

本製品に増設できるメモリボードは次のとおりです。

タイプ	144ピンおよび16ビットの出力
CASレイテンシイ	4
クロック周波数	267MHz以上（533MB/s/pin）
容量	256MB
DRAMタイプ	DDR2 SDRAM
高さ	30.0mm

推奨メモリボード

メーカー名	型番	容量
Kingston	KTH-LJ2015/256	256 MB
Transcend	TS256MHP423A	256 MB

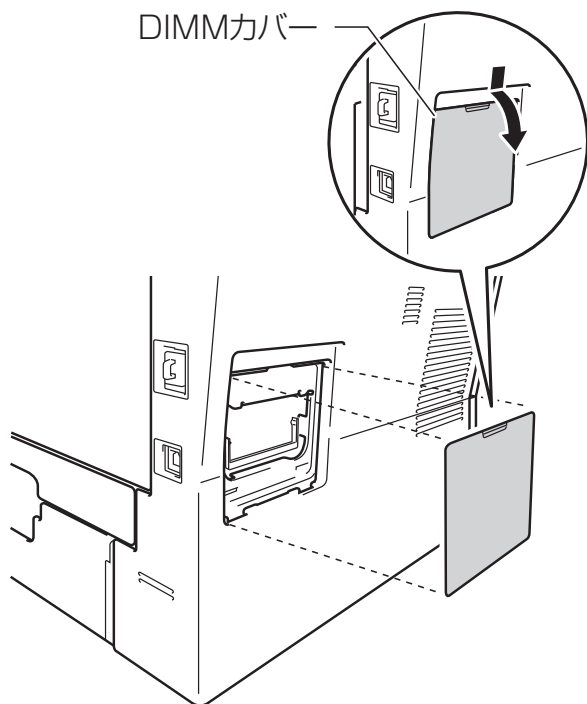
メモリボードを取り付ける

警 告

メモリボードの取り付け・取り外しのときは、電源スイッチが OFF になっていること、コンセントから電源コードが抜いてあることを確認してください。コンセントから電源コードを抜かずに取り付け・取り外しをすると感電するおそれがあります。

1 準備する

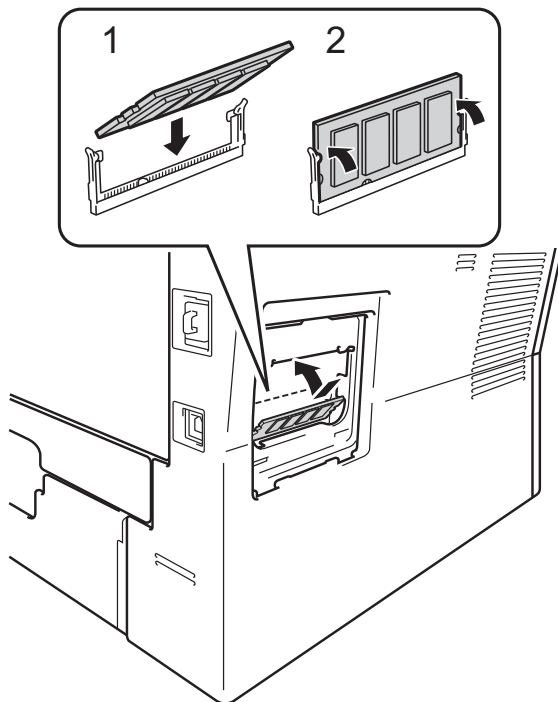
1 電源スイッチをOFFにする
2 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
3 電源コードをコンセントから抜く

2 DIMMカバーを外す

3 メモリボードの両端を持つ

! 重 要

■メモリボードは、わずかな静電気でも内部が破損するおそれがありますので、必ず金属製の物に触れて静電気を除去してください。
■メモリボードの表面には触れないようにしてください。

4 メモリボードを取り付ける

- 両端をもったまま、メモリボードの切り欠きとスロットの端子の凸部分を合わせるように差し込みます。
- スロット両側にあるロックが開いていることを確認して、カチッと音がするまでメモリボードを倒します。
- スロット両側にあるロックがしっかりとはまっていることを確認してください。

補足

メモリボードを取り外すときは、押さえているロックを開いてメモリボードの両端を持ってまっすぐに引き抜いてください。

5 DIMMカバーを取り付ける

6 元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチがOFFになっていることを確認する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
4 電源スイッチをONにする

補足

本製品のメモリサイズは、設定内容リストで確認できます。⇒51 ページ「レポート・リストの種類」を参照してください。

全体にかかわる設定
ファクス送信
ファクス受信
転送・リモコン
レポート・リスト
USBダイレクトプリント
必要なときに確認してほしいこと

用語集

あ

● **アイコン**
画面上で、ファイル、フォルダー、またはプログラムなどを示す絵文字です。

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● **インターフェイス**
コンピューターと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやり取りするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® XP、Windows Vista®などで、インストール作業を半自動化してくれる機能です。

● **液晶ディスプレイ**
本製品の液晶表示パネルです。

● **オートマチックドライバーインストーラー**
ネットワーク環境で本製品を使う場合、簡単にドライバーをインストールできるツールです。付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROMから操作できます。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

か

● **海外送信**
海外送信モードを設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも通信状態の悪いところへ通信するときは、海外送信モードに設定しておくと、確実に通信できます。

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **解像度**
画像を読み取る細かさ、あるいは印刷する際の画像のきめ細かさ（滑らかさ）を表す単位です。スキャナーの場合は、1インチ（2.54cm）の寸法原稿を何画素で読み取れるかを表し、プリンターの場合は、印刷原稿1インチの寸法に何ドットで印字ができるかを表します。解像度が高くなるということは、画像を細かく読み取れたり、きめ細かく印刷できたりするということです。

● **機密ポーリング**
受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。

● **キャリアシート**
新聞・雑誌の小さい切り抜きや、メモ書き、破れた原稿、反っている原稿などの状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送信やコピーするときに使います。本製品で使用するときは、原稿台ガラス面をお使いください。

● **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

● **公衆回線**
一般のアナログ電話回線です。

さ

● **次世代ネットワーク（NGN）**
電話やインターネット、放送など、目的ごとに異なるさまざまなネットワークを、IP技術を用いて統合した新しい情報通信ネットワークです。

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて本製品に接続されている電話機の受話器を取ってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スタックコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1枚目を希望枚数分、2枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。

● **スプリッタ**
ADSLという通信サービスを利用するときに必要な機器の1つ。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりする機能を備えています。

● **セキュリティ IPフィルター**
ネットワーク上の指定したコンピューターからのみ、本製品のアクセスやプリントを許可することができます。または、任意のコンピューターからのアクセスや印刷を拒否することもできます。特定のコンピューターからの印刷を拒否することで、印刷による機密情報の漏洩防止や、他のワークグループからの不正印刷防止による経費削減効果が期待できます。

● **セキュリティ印刷**
コンピューターから文書の印刷を指示するとき、パスワードを設定して本製品のメモリにデータを保存します。印刷するときは、本製品の操作パネルからパスワードを入力することで印刷ができます。機密文書などを印刷するときに活用できます。

● **セキュリティ機能ロック2.0**
ユーザーごとにパスワードを割り当て、コピー/スキャナー/ファクス送受信/プリンターの利用を制限できる機能です。

● **セキュリティ設定**
パスワードを登録して、設定の変更を制限したり、印刷/ファクス送信/コピー操作の利用を制限できる機能です。

● **ソートコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿1部すべてコピーした後、再度1ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

● **タイマー送信**
指定した時刻にファクス送信する機能のことです。深夜や早朝など、電話料金が割引される時間帯を利用して通信すると経済的です。

● **ダイヤル制限**
ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限する機能です。ファクスを送信する前に番号を確認してから送ることができます。

● **タスクバー**
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **多目的トレイ（MPトレイ）**
本製品で記録紙トレイにセットできない種類やサイズの記録紙を設定できるスロットです。

● **定着ユニット**
紙に転写されたトナーを熱で定着するところです。本製品の液晶ディスプレイでは【ヒーター】が表示されます。

● **データコネクト**
お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュアで安定した帯域確保型データ通信を実現するサービスです。データコネクトでIPファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、コンピューターで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **電話呼び出し機能**
ファクスメッセージがメモリに蓄えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

● **同報送信**
1つの原稿のファクスの送信時に、複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。

● **トナー**
炭素を主成分とした粉末。画像の部分にトナーを付着させ、紙に転写し定着させることでコピーおよび印刷が行われます。

● **トナーセーブ（トナー節約モード）**
使用するトナーを節約して印刷する機能です。

● **ドライバー**
本製品に付属されているソフトウェア。コンピューターと周辺機器の橋渡しを行います。プリンタードライバーやスキャナー機能などを持っています。

● **ドラムユニット**
記録紙に画像を転写するための丸い筒状の部品です。磨耗により劣化すると印刷品質に影響が出るので交換する必要があります。

● **とりまとめ送信**
メモリに蓄えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

な

● **ナンバー・ディスプレイサービス**
「ナンバー・ディスプレイサービス」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機などのディスプレイに表示されるサービスです。ご利用になるには別途電話会社へのお申し込みが必要です。

は

● **ファクス転送**
ファクスメッセージがメモリに蓄えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

● **プリンタードライバー**
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンターで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

● **ポーリング通信**
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿またはメモリに蓄積されている原稿を自動的に送信させる機能です。

ま

● **メモリ送信**
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリに蓄えてから送信する機能です。

● **メモリ代行受信**
記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリに蓄えておく機能です。

ら

● **リアルタイム送信**
データをメモリに蓄えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。原稿の枚数が多い場合でもメモリオーバーすることなく送信できます。

● **リダイヤル**
相手先が話し中のときなど、再びダイヤルをすることです。

- **リモート受信**
本製品に接続された電話機から本製品を操作する機能です。
- **リモートセットアップ**
本製品に対する機能設定をコンピューター上で簡単に行うことができる機能です。
- **リモコンアクセス**
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。外出先の電話からリモート起動番号を入力することで、さまざまな設定を行えます。
- **ルーター**
ネットワーク間（LANとLAN、LANとWAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。
- **ログオン（ログイン）**
コンピューターやシステムでアクセスするときに行う操作です。

数字

- **2 in 1**
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。
- **4 in 1**
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

A to Z

- **ADF**
自動原稿送り装置。コピー、ファクス、スキャンするときに、まとめてセットしておけば自動的に原稿を1枚ずつ送り、読み取ります。
- **ADSL**
通常の電話回線（アナログ回線）で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。
- **BRAdmin Light/BRAdmin Professional**
ネットワークプリンターなどネットワークに接続されたデバイスの管理を行うことができるユーティリティソフトウェアです。BRAdmin Lightは、IP取得方法やIPアドレスなどの設定ができます。
Windows®は、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMからインストールできます。Macintoshは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
より詳細な設定や管理ができるBRAdmin Professional（Windows®のみ対応）は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
- **CSV形式**
Comma Separated Valueの略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。Microsoft® Excel®などの表計算ソフトウェアでは、CSV形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。
- **DPI**
Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。
- **ECM通信**
Error Correction Modeの略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。送信側・受信側ともにECM機能を持っていないとECM通信は行われません。
- **FTP**
File Transfer Protocolの略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのことです。
- **JPEG**
画像データを保存するファイル形式の 1 つで Joint Photographic Experts Groupの略。写真などの圧縮に効果的な圧縮方式です。
- **IPフォン**
インターネットを利用した通信方法で、多くのプロバイダーで行っている格安な電話サービスの総称です。一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。
- **ISDN**
NTTが行っている総合デジタル通信網サービスです。「INSネット64」では、デジタル回線で電話とファクスを同時に使用することができますので、アナログ回線2本と同様な使いかたができます。
- **ITU-T T.38**
電話回線で使われるファクスの信号を、IPネットワーク上で通信するために規定した規格です。
- **LAN**
Local Area Networkの略で、同一のフロアやビルなどにあるコンピューター同士を接続したネットワークのことです。
- **OCR機能**
Optical Character Readerの略。手書きの文字や印字された文字を光学的に読み取り、前もって記憶された文字のパターンと照合して文字を特定し、文字データに変換する機能のことです。

● OS
Operating System(オペレーティングシステム)の略で、コンピューターの基本ソフトウェア群です。Windows®、MacもOSの1つです。

● PC/AT互換機
IBM 社が開発したパーソナルコンピューター(IBM.PC/AT)の互換コンピューターに付いた名称です。日本ではDOS/Vコンピューターともいわれます。

● PCファクス受信
受信したファクスをコンピューターで画像データとして保存できる機能です。

● PCファクス送信
コンピューターのアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● PDF
電子形式書類の 1 つで、Portable Document Formatの略。PostScript®をベースとしたフォーマットで、Adobe Readerというソフトウェアを使用して閲覧できます。

● Presto! PageManager
書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。Windows® の場合は、プリンタードライバーをインストール時に同時にインストールできます。また、付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROMから個別にインストールすることもできます。
Macintosh の場合は、プリンタードライバーのインストール時にダウンロードすることができます。

● Scan to 機能
本製品でスキャンした原稿をネットワークを通じて送信することができる機能です。本製品では、スキャン to OCR、スキャン to FTPなどの機能を使用できます。

● TIFF
画像データを保存する形式の 1 つで Tagged Image File Formatの略。データの型を表すタグによって、1つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できます。

● TWAIN
スキャナーなどの画像入力装置と、グラフィックソフトなどのアプリケーションとの間のインターフェイスに関する規格です。TWAIN対応の機器を使用するためには、TWAINドライバーをコンピューターにインストールする必要があります。

● USBケーブル
USBは、Universal Serial Bus(ユニバーサルシリアルバス)の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識する機能や、コンピューターの電源スイッチをONにしたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● Vcards(vcf形式)
電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA
Windows Imaging Acquisitionの略でイメージスキャナーなどの画像入力装置用プロトコルです。

● Windows® XP/XP Professional x64 Edition、Windows Vista®、Windows® 7
Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ XP は2001年、XP Professional x64 Editionは2005年、Vistaは2007年、Windows® 7は2009年に発売されました。

索　引

て

と

な

ね

は

ひ

ふ

ほ

む

め

も

よ

り